

ニチアサ2012

ホミキ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

全ては、あの時始まった研究所全てが亜空間に飛ばされた

全てはあの時始まった片方が月に置いてかれ片方が月から脱出した

☒? 「輝け！スマイルプリキュア！」

目次

ミッション1 特命戦隊青春満点キュアハッピー | 1

ミツシヨニー 特命戦隊青春満点キュアハッピー

ニツク「おいつ！ヒロム！起きてるか？起きてるだろ？さあ今日も一発元氣よくおはよーってワオなんてこつタア朝からフリーズ状態か。」

ヒロム「カチカチ

ニツク「頼むよヒロム！ついにあれが来たんだ！」

高層ビル

黒木「特命近代地区Bの531ポイントにてエネトロン流失の疑いあり不正利用者であれば身柄を確保の上警察局へ連絡ただしバグラスであった場合即刻削除せよ。」

視点リユウジヨーク

ヨーク「シャキーン

リユウジ「カシャピッ

ヨーク「エネトロンの流出確認」

リユウジ「バグラス反応確認」

ヨーク「お菓子ムシャムシャ

リユウジ「行きますか。バスターズレディー？」

ヨーク「ゴー！」

リユウジヨーク「はあああああああああ！！？」

視点ニツク

ニツク「ヒロムほらおきつろて、ほらこれ見ろって」

視点リユウジヨーク

バンツバンツ

リユウジヨーク「ダッ！カチカチ

it's morphing Time

リユウジヨーク「レッツモーフィン！」

ブルーバスター「バグラスの皆さん抵抗は、ご自由に」

イエローバスター「どっちみちシャットダウンさせてもらうから」

バグラー「

ブルーイエロー「はあ！！？」

視点ヒロム

カチツカチツプシュー

ヒロム「ゴーバスターズ」

ゴーバスターズop

ニツク「よつと」バイクモード

ニツク「go!!?」

視点リュウジヨコ

ブルーバスター「デエヤア！」

イエローバスター「やああ！」

ブルーバスター「だああ!!?」スツパーン

イエローバスター「はあ！」ズツパーン！

視点ヒロム

ヒロム「」

視点リュウジヨコ

ブルーイエロー「ハア！」

バグラ「っ！」

ブルーイエロー「カチカチ

TRANSPORT

ウィーローン

it's time for buster

っドカーン！

視点みゆき

みゆき「うわああああ!!?遅刻だああああ」

私星空みゆき 絵本大好きな中学二年生 今日 転校初日なんだ

けどいきなり遅刻で大ピンチ！ でも空はとってもいい天気だし！

私は元気出し！

みゆき「ウルトラハッピーなことがおこるかもおー!!?ドタバタ登

校に曲がり角とっても素敵な予感！」

弦太郎「うわああああ!!?どいてくれえええ!!?」

みゆき「わああああ!!?」

バタン！

みゆき・弦太郎「いってて。あつ！」

みゆき「ごめんなさい！ぶつかってしまつて！」

弦太郎「いや！俺の方こそ悪い！転校早々遅刻しそうで焦つてたぜ」

みゆき「遅刻？つてああああ!!？私遅刻してたんだつた!!？」

弦太郎「まじかよ！俺もそろそろいかねえーと!!？じゃあまたな！」

みゆき「はい！」

みゆき「うん！なかなか素敵な事が起こつたつてあれ？なにあれ？

鳥？カラス？本？つてあれ？こつちに近づいてくる！」

キャンデイ「クル！」

ボタン！

みゆき「いてて　？」

キャンデイ「クル？」

みゆき「可愛い！」ギュー

キャンデイ「クル！」

みゆき「貴方は犬さん？猫さん？狸さん？お名前は☒あ」

キャンデイ「名前はキャンデイクル！キャンデイは絵本の国メルヘンランドの妖精さんクル」

みゆき「きやあああああああ！絵本好きな私にやってきた素敵なお会い！妖精さんだつて妖精さああああん！」

キャンデイ「はっ！こうしちやいられない！クル！」

みゆき「つてかしやべつた！ねえ貴方私とお友達に　つてあれ？

いない？キャンデイ？はっ！まさか夢？あつぷぷーつてあれ？」

キャンデイの絵本

みゆき「これつて夢じゃない!!？」

キーンコーンカーンコーン

みゆき「あつ！学校！」

みゆき「なんでだろう！これからとってもハッピーな事が起きる気がする！」

スマイルop

女生徒「堅吾先輩！これ読んで下さい！」
手紙

堅吾「時間の無駄だ」手紙川にポイ

弦太郎「おいっ」タツタツタ

弦太郎「捨てる奴があるか！」堅吾の胸ぐら掴む

弦太郎「人からもらった手紙はちゃんと読め！相手の思いはきちんと受け止めろ！断るんだったら読んでから断れ！それが礼儀つてもんだ」ドーン

弦太郎「もつてろ」鞆渡す

弦太郎「オリヤアアアアあ！いテエエ！」バシヤン！

堅吾「バカの極みだな」カチツカチツ

フォーゼop

ゆうき「どお？」

堅吾「ザフォーゼも活性化してるいよいよフォーゼの力を使うときが来るのか」

ゆうき「フォーゼ！あれはダメだよ！」

園田「おはよう！」

生徒「おつよう今日も可愛いねえー」

園田「夏休み楽しかった？」

生徒達「楽しかったです」

園田「今日はこの2年B組に新しいクラスメイトが増えます」

生徒達「お〜」

弦太郎「」如月弦太郎

弦太郎「如月弦太郎だ！俺の夢はこの学校全員と友達になる事だ！よろしくな！よろしくうみんなよろしく！ん？ゆうき!!？」

ゆうき「弦ちゃん！」

弦太郎「久しぶりだな小学校以来か？」

ゆうき「そうだね！小学校3年以來」

弦太郎「おっ相変わらず夢は宇宙飛行士か！」

ゆうき「うん！弦ちゃんは友達100人で来た？」

弦太郎「今じゃ1000人だ」

ゆうき「うそ☒」

園田「そろそろいいかな？如月君も席について」

弦太郎「あっちよつとまって！」どん！

弦太郎「歌星堅吾さんお前宛だよな？」

堅吾「わざわざもって来たのか？お節介だな」

弦太郎「ああお節介だ友達だからな」

堅吾「君と友人になった覚えはないが？」

弦太郎「今からなるんだお前は気に食わねえ女の手紙を捨てるなんて許せねえだからダチになる」

堅吾「非論理的な発言だ」

弦太郎「いや筋は通ってるお前のような奴と友達になれなきゃこの学校全員の奴と友達になるないからな」

堅吾「俺と君が友達になる確率はゼロだ」

弦太郎「おい！ちよつとまって！」

園田「歌星君！また勝手に」

堅吾「すいません保健室です」

弦太郎「だったらなってやろうじゃんか意地でもな」

みゆき視点

佐々木「それでは転校生を紹介しますさあ星空さん自己紹介をしてください」

みゆき「はっはい」

みゆき「なにこれ超緊張する！でも大丈夫挨拶の練習ちゃんとしたもん！あーやっぱり緊張する！頑張れ私！でもやっぱりムリーでもやんなきゃ！やんなきゃ！やんなきゃ！）チーン

あかね「まだー？自己紹介？」

みゆき「あっはい！えとわ私星空みゆきですとととにかくよろしくお願いします！」

あかね「へ！それで終わり☒あかん才ないやんよし！代わりに私が自己紹介したる！んーそうやなく見た感じおつちよちようやけどしつかりしてる」

みゆき「んえっ！」

あかね「んで星を見るのが大好きな弟がおって名前はそうやなく星
空見太郎」

生徒達「あっはははははは」

あかね「あーうけたうけたほな次は」

なお「あかね」

あかね「？」

みゆき「？」

なお「星空さん困ってるでしょ？」

れいか「そうですよ挨拶は自分でしないと」

あかね「はいはいちようどええからあの二人を紹介するわ。あつち
が緑川なおスポーツ万能でおまけに義理がたくって情にもろい女番
長って感じやな」

なお「ばっ番長☒」

みゆき「ば番長？」

あかね「ほんでこっちのお嬢様が青木れいかクラス委員長で勉強も
できておまけに男子にモッテモッテ」

れいか「モテモテ☒」

みゆき「へえ〜」

あかね「ほんでうちは日野あかね去年大阪から引越して来たから
転校生の気持ちは、ようわかんねん」

佐々木「はいそこまで日野さんありがとう席について」

あかね「えへへお後が嬉しいもんで」

みゆき「ははは」

やよい「気にしないでくださいね。あかねちゃんは星空さんの緊張
をほぐそうとふざけただけだから」

あかね「その子は黄瀬やよい超泣き虫でちよつと突っ込んだだけで
すぐ泣いてまうねん」

やよい「変なこと言わないでよ。泣いたのは、たったの3巻だけだ
もん」

生徒達「あはは」

みゆき「みんなありがとう！改めまして星空みゆきです、皆さんの

おかげで緊張が解けました私は絵本が大好きで小さい時からたくさん読んでます絵本のお話は必ずハッピーエンドになるのが素敵だなーって思ってた私もそんなハッピーを毎日探してます！」

あかね「それってどんなん？」

みゆき「？」

あかね「星空さんにとってねハッピーってどんなかなーて」

みゆき「えーと口では説明しにくいんですけどハッピーってこうなんかこの辺がキラキラして胸がワクワクしてとにかく！ウルトラハッピーって感じのことなんです！」

やよい「えへ」

あかね「なんかよーわからんけど」

れいか「なんだかわかります」

みゆき「そんなわけで、よろしくおねがいます！」

みゆき「うふふ」

佐々木「それじゃあ星空さんの席は」

あかね「はいはいー私の後ろあいてまーす」

佐々木「そうですね星空の席はそこです」

みゆき「はい！日野さんよろしくね」

あかね色こつちこそよろしくな」

佐々木「それではホームルームを始めます」

みゆき「はあー緊張したく挨拶頑張れて良かった」

みゆき「！」

ピヨーンピヨーン

キャンディ「早くプリキュアを見つかるクル」

みゆき「キャンディ！」

あかね「？」

みゆき「キャンディだよほら！あれ？」

あかね「なんもおらんで？」

佐々木「星空さん？」

みゆき「うげ！」

佐々木「締め切りも迫っているので早く決めましょうやりたい

人」

リユウジヨーコ視点

イエローバスター「スチャ

ブルーバスター「さてお前もいい加減正体表したら？」

エンター「ピク

ブルーイエロー「!!？」

エンター「ギューーン

ブルーイエロー「!」ヒョイ

エンター「ピロピロピロピロ

エンター「サバア ゴーバスターズ」

イエローバスター「鯖?人を魚みたいに!」

ブルーバスター「ヨーコちゃん今の調子どう?ってフランス語」

イエローバスター「え?え?知ってたし!」

エンター「私はエンターお見知り置きを。貴方がたが勝手にバグラスと呼んでいる私達のこれから始まる本番をプロデュースさせていただきます」

イエローバスター「本番?」

エンター「やあ!!?」ギューーン!

ブルーバスター「!」バンツバンツ

ブルーバスター「ハア逃げられた」

黒木視点

黒木「森下これまでバグラスに奪われたエネトロンの総量は?」

森下「推定で60万トロン突進エネルギーの役1年分ですね」

黒木「本番か ついに始まるということか」

ゴリサキ「神様リユウジを守ってくださいってどうもありがとうございます」

ウサダ「へえー神頼みするほど頼りないんだねその分うちのヨーコは心配なしーウサダとしては余裕すいすい」

仲村「すいません失礼します」

ウサダ「はあく☒失礼なことは最初からやめてください」

黒木「来るゴバスターズが二人では持たない時が」

園田視点

園田「ほんと勝手な生徒ばかり」

大杉「まあそれが校風ですからねそれより園田先生見ましたかこの
掲示板」

園田「天ノ川高校は悪魔の巣だぶつ壊してやる?」

大杉「本当ふざけてる」

園田「最近妙なことが増えてきてませんか?この学校」

大杉「いやつご心配なく園田先生はこの大杉忠太がお守りしますか
ら」

パチン

みゆき視点

あかね「?もう帰るん?なんやったら学校の中案内しようか?」

みゆき「ありがとう!でも日野さん部活でしょう?私は一人で大丈夫」

あかね「そっかほなまた明日なバイバイ」

みゆき「キャンデイ夢じゃなかったはつもしかしたら学校のどこかに
いるかも!おっしやあ!こうなったら学校の中を探検ダア!」

ガラガラ

みゆき「へエく広い音楽室」

ガラガラ

みゆき「ここが理科室」

ガラガラ

みゆき「ここが図書室か。誰もいない図書室ってなんか不思議あれ
?」

光る本

みゆき「なに?なんだろう?この光本棚の奥から?」

カチ

みゆき「あれ?」

カチ

みゆき「またよーし!えい!」

カチ

本が光る

みゆき「なにになに！なんなの☒本が光ってあれ☒本に吸い込まれる
ウアアアアアアアア!!?」

ヒロム視点

ニツク「ヒロムこの素晴らしい景色ともしばらくお別れだなくても本
当にいいのか？リカさん悲しむぞ」

ヒロム「ニツクが心配しなくていい姉さんにはちゃんと話す」

ニツク「柔らかくだぞお前はなんでもストレートに言いすぎるか
ら」

ヒロム「普通に話してるだけだ」ブーン

ニツク「その普通がおつと！病院は次左なおい！左って言ったろ！
なんで右に曲がるんだ！」

ヒロム「お前がバディロイドの癖に方向音痴だから」

ニツク「むむストレートな指摘をサンキュー」

ブーン

弦太郎視点

ガチャ

弦太郎「歌星いるか？いねえか」

食堂

弦太郎「ここにもいねえか。よつよつ鍛えてるねく水球頑張つて！
よいしょ」

生徒「おいおい座っちまったぞ！」

弦太郎「なんだよ！俺の顔に何か付いてんか☒」

JK「おいwどこ座つてんだ転校生w」

弦太郎「なんだと！」

JK「なんなのあいつちよーうけんだけけどwとい会えずwチューす
w」

女生徒「w w w w w」

ユウキ「弦ちゃん弦ちゃん！」

弦太郎「よう」

ユウキ「やばいよ早くそごどいてー！」

弦太郎「なんで？」

ユウキ「あのねグループによって座る席が決まってるの！ほら見てあつちは不良」

不良「ドンッ！」

ユウキ「こっちはガリ勉」

ガリ勉「スチャ」

ユウキ「こっちは遊び人」

遊び人「ウエエエイ!!？」

ユウキ「あつちはオタク」

オタク「」

ユウキ「あれは筋肉」

筋肉「ウオオオ」

弦太郎「馬鹿じゃねえのお前！そんなのきいたことねえよ」

ユウキ「でもそれはこの学校のルールだから」

JK「そうそうそれにギークがこんなところにいたらまずいでしょ

w」

弦太郎「ギーク？」

ユウキ「オタクって意味あー私のことね　ねえいこー早く行かないと大変なことになる！」

ガチャスタスタ

弦太郎「なんだあいつスッゲー美人だこの学校も捨てたもんじゃねえーな」

ユウキ「風城先輩この学校のクイーンだからほらいこいこいこ」

美羽「トラッシュユとギークがなんでこの席にいるのかしら？」

ユウキ「ごめんなさい！」

弦太郎「トラッシュユ？」

美羽「そう！トラッシュユの中のトラッシュユ」

弦太郎「それは男の中の男そういうことか？」キリッ

美羽「ウツプス？」

女生徒「プッ　w」

ガシ

弦太郎「?うあああああ」

ガツシャーン!

ユウキ「弦ちゃん!大丈夫?」

美羽「ありがとう隼でも少しホコリが立った」

隼「これは失礼した美羽気をつけよう」

弦太郎「いきなり人ぶん投げるとかなん考えてんだこのやろう!!
?」

隼「騒ぐなゴミをゴミ箱に入れただけだ」

弦太郎「ゴミだと?冗談じゃねえ!俺様はトラツシユだ!!?」

ユウキ「馬鹿!ゴミって意味よ!トラツシユはゴミ!」

弦太郎「何!馬鹿にしゃがって!俺はゴミじゃねえ!如月弦太郎だ
!」

隼「黙れトラツシユの名前など聞く気は無い」パチン

隼「やれ」

生徒達「」ぞろぞろ

弦太郎「へっ!力づくは嫌いじゃねえ!」

取り巻きa「おらっ!」

弦太郎「はっ」ヒュン

弦太郎「おら!」ドンツ!

取り巻きa「うわあ」

弦太郎「おらよつと!」バキツ

取り巻きb c「ウワアああああ!!?」

取り巻きa「おらおらおら!!?」ブンツ

弦太郎「ほっ!」ヒュン

取り巻きa「ウワアああああ!!?」

JK「やるッ w」

ユウキ「キャ!話して!!?」

弦太郎「ユウキ!テメエ!」

隼「お前が大人しくするのなら彼女をどうこうする気は無い」

弦太郎「卑怯な野郎だな!」

三浦「大文字さんになんて口聞くんた!」

弦太郎「大文字？」

隼「アメフト部部長の大文字隼だ。こい！ここではレディの食事の邪魔になる」

グラウンド

隼「お前が一切抵抗しなかったらこいつを解放してやろう」

弦太郎「いいだろう！」

隼「うりやあああああ」

弦太郎「かはっ!!？」

隼「ふッ w」

弦太郎「どうした？そんなもんか☒」

隼「何？」

弦太郎「気にすんなユウキ！友達だからな」

隼「だったら徹底的にやれせてもらおう三浦そこらを見張ってろ」

三浦「はい！」

隼「リヤああああ!!？」

ドン!!？」

弦太郎「ウワアああああ!!？」ボタン

取り巻き達「おらっ立て!!？」

弦太郎「？なんだあれ？星？」

オリオンゾディアーツ「ウオオオオ!!？」

弦太郎「なんだあれ☒バケモン！」

隼「行くぞ!!？」

取り巻き達「はい！」

弦太郎「ユウキ!!？」

ドッカーン

弦太郎「あれもアメフト部☒な訳ねえーよな！」

ユウキ「あつあれは、」

弦太郎「まあよくワカンねえけど下がってろすぐに追い払ってヤ
ラァ！」

鉄パイプ

弦太郎「先手必勝だこの野郎!!？」

オリオンゾディアーツ「ふん！」折れた鉄パイプ
弦太郎「ええええええ!!?ウワアああああ」
ドン

ユウキ「弦ちゃん！」

オリオンゾディアーツ「ギューーン

ユウキ「キャ」

バン

ユウキ「あれ☒」

パワーダイザー

堅吾「大丈夫かユウキ？」

ユウキ「うん！見て体にオリオン座ゾディアーツよ！」

堅吾「みたいだな 下がってる!!?」ギューーン

ドンドンドンバキ!!?

オリオンゾディアーツ「うっ!!?」

堅吾「ハアハア」

ユウキ「堅吾君？」

倉庫

堅吾「まだ倒しちやいないパワーダイザーじゃその場しのぎだ」
ラビットハッチ

堅吾「ハアハア」

ユウキ「まって！フォーゼはダメよ！」

堅吾「ゾディアーツを倒すにはこれしか無い！」

ユウキ「ダイザーの操縦でさえバテバテだったじゃ無い！」

ロケット ランチャー ドリル レーダー

堅吾「俺がやるしかないんだ」

ユウキ「まって！」

堅吾「どいてくれ！時間の無駄だ」

弦太郎「ウワアああああ」ふわふわ

ユウキ「弦ちゃん！」

弦太郎「なんだここ？異様にふわふわすんな！」

堅吾「ガチャ

重力コントロール

弦太郎「うわっ　なんか秘密基地みたいでかつこいいな」

堅吾「あとをつけたのか？」

弦太郎「まさかあのドリルはお前が操縦してたとな」

堅吾「そこまで見てたのか？」

弦太郎「よこせ！」

フォーゼドライバー

堅吾「貴様!!？」

弦太郎「ヒョイ

弦太郎「話はきいた。これならあのバケモンが倒せんだな？」

キャンディ視点「プリキュア〜どこクルー！ひゃあ！」

ウルフルン「ウルフッフッフ」

キャンディ「狼が来たクル〜！」

みゆき視点

みゆき「うわあ痛いよ〜!!？」

みゆき「あれ？ここどこ？綺麗〜あつあれまさか」タツタツタ

みゆき「やつぱりそうだ！周りの壁全てに絵本が並んでるんだ！あれ？これってさっきの本と同じ」

みゆき「ひつままた光った！」

キャンディ「クルー!!？」

みゆき「キャンディ☒」

キャンディ「プリキュアはどこクル〜！」

みゆき「なにこれ！本の向こうにキャンディが　ムー！みーえー

な〜い!!？ちよつとこれどうなってるの☒キャンディが見えないよ

！」

カチカチ

みゆき「もう！あれ☒また本が光って　う　ウワアああああ!!

？」

みゆき「あれ☒ここって商店街の本屋さん！どうなってるの☒そう

だキャンディ!!？」

エンター視点

エンター視点

カチっカチウィーン

エンター「アローアローアロー我がメジユステイメサイヤ」

メサイヤ「エンターここは息苦しい」

エンター「マジステイ。もうすぐです。13年もの暗闇が終わりま
す。次に苦しむのは、人間です」

メサイヤ「人間☒そう人間だ!!?」

エンター「ウィーウィーウィーマジステイ全てお任せを」カチシユ
ウィーン

エンター「メタウイルスマシンインストール」

シヨベルロイドシヨベルロイド

エンター「さあ!フェスタの始まりです」

シヨベルバグラス「ぬっ!」

黒木視点

仲村「仲村ミホです本日付を持って特命部のオペレーターを任命さ
れました訓練センターでの成績は」

サイレンビービー

森下「司令官、宮脇地区にエネトロン異常消費反応です!もしかし
たらメタロイド」

ウサダ「来たぞ」

黒木「ついに来たか。仲村悪いがすぐに実践だウサダサポートして
やれ」

ウサダ「えー!」

ドン

ウサダ「いてっ!」

ヨーコ「ウサダ!文句言わずにやる!」

ウサダ「はいラジャラビート」

ゴリサキ「リュウジ!ついに来た始めてあれが!メメメメメタロイ
ド」

リュウジ「落ち着けこの時のために訓練して来たんでしようが」

黒木「リュウジヨーコバグラスの進行を絶対に許すな出動だ」

リュウジヨーコ「了解!!?」

森下「シューター使ってください」

ウサダ「頑張れ」

仲村「あんな若い女の子が戦うんですか☒」

ウサダ「宇佐見ヨコは特別もちろんリユウジも13年前ある力を受けてからウサダ達バディロイドと一緒に備えて来た」

シヨベルバグラス「ウリヤア!!？」ドカン

一般市民「きゃあああああああ!」

森下「シューターハッチa2じようオープン」

ウサダ「特命戦隊ゴースターズとして戦うために」

リユウジ視点

カチカチ

it's morphing Time

リユウジヨコ「レッツモーフイン」

シヨベルバグラス「☒お前達はゴースターズか？」

イエローバスター「お前がメタロイドか」

ブルーバスター「よろしく!とわ言いづらいな」

TANSPORT

シヨベルバグラス「くらえ!」ダツダツダツ!!?

ブルーバスター「おっと!ふ!」バンバン

イエローバスター「はっ!!?」スパーン

ウサダ「敵はバグラスそしてあれはバグラスが物体にインストールして作るメタロイド」

仲村視点

ウサダ「でも仲村の仕事はそつちじゃない亜空間のモニター技術を訓練されたはずだよね?やっつてすぐに」

仲村「はい」カチカチ

仲村「へ?亜空間から何か転送されて来ます!」

ウサダ「なっ!転送完了時間は?」

仲村「まっってください!今から3分30秒後です」

ウサダ「こちら指令室亜空間からの転送時間を特定したよ時間はブレスを見て」

ヨーコ視点

イエローバスター「え？嘘訓練より全然早い！」

ブルーバスター「これが実践をやつたようおっ!!？」
ダダダ!!？」

シヨベルバグラス「はっはっはっどうした！モタモタしてるとお前
らも穴だらけだ！」

ゴリサキ視点

ゴリサキ「あくダメだよっぱりメタロイドは強い」

ウサダ「うるさいよ！ゴリサキ！」

森下「司令官もう一人のゴースターズはまだ」

仲村「もう一人？もう一人いるんですか」

ウサダ「いるヨーコ達と同じ特別な子があと一人でも」

回想

リカ「嫌です!!？ヒロムには絶対そんなことは、させません!!？」

ヨーコ視点

イエローバスター「はっ!!？」

ブルーバスター「やあ!!？」

シヨベルバグラス「ふっタア」ダダダダダ!!？」

ブルーバスター「こんな時は最後の一人が登場するのがお約束だけ
ど」

イエローバスター「無理！お姉ちゃんが大事大事で手放してくれな
いでしょ？そんなシスコン来ても邪魔!!？」

リカ視点

リカ「本当心配かけてごめんねただの疲れだって、明後日には帰っ
ていって先生が…何？」

ヒロム「姉さん俺行くよ！」

リカ「いくってまさかヒロム！」

ニツク「ヒロム……！戦いが始まった！」

リカ「ニツク！貴方が唆したのねヒロムに戦えなんて！ヒロムがど
んなに危険な目にあうのか分かってるの」

ニツク「いやっ」

ヒロム「姉さん 俺は決めてたんだ 13年前のあの時から」
リカ「ヒロム」

ヒロム「逃げるわけにはいかない俺たちが戦わなきゃまた悲劇が起きる俺たちの父さんや母さんみたいに」

モーフィンブレス

ヒロム「姉さん 13年間守ってくれてありがとう俺は戦って勝つてまた戻ってくるよ」

リカ「ヒロム！」

ヒロム「急ぐぞ！ニック」

ニック「ok一発戦って一発勝って一発戻ってくるか！」

ヨココ視点

仲村「転送完了まであと10秒」

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

仲村「転送完了きます！」

メガゾード」

イエローバスター「何あれでかい!!？」

黒木視点

森下「敵メガゾードエネトロンタンクに向かってます！」

仲村「どうしてタンクに☒」

ウサダ「バグラスのボスメサイヤは亜空間からこの世界に来ようとしてるんだけどそれには大量のエネトロンがいるんだ」

森下「敵メガゾードタンクに到達！タンク側からバスターズ出動信

号です！」

ウサダ「無理だよ！今はいけない！」

ゴリサキ「もうダメだ」

ヒロム「こちら桜田ヒロム指令室聞こえますか？」

黒木「ヒロム来たか」

ニツク「期待の星ニツクもお忘れなく」

ヒロム「状況は分かっています01を出してください！」

ゴリサキ「えー！訓練もしてないのに☒」

ニツク「俺がシユミレーションさせてないとも思ったか？」

ヒロム「大丈夫ですいけます！」

ウサダ「うわっ！自身満々」

黒木「よしっバスタービークルBB01緊急発信準備」

一同「了解」

仲村「バスタービークルBB01緊急発信準備完了」

黒木「バスタービークルBB01発信」

森下「全然改良問題なし」

仲村「エネトログリーン」

ヨーコ視点

イエローバスター「エネトロンが」

シヨベルバグラス「はっはっはっ！根こそぎ奪い取れ！」

ブーン

シヨベルバグラス「うわっ！」

ヒロム「あとは任せます」

ニツク「あのでっかいのは俺たちに任せろ！」

ブーン

ブルーバスター「あいつら」

イエローバスター「まさか来たの？」

ヒロム視点

カチカチ

it's morphing Time

ヒロム「レッツモーフイン！」

森下「レッドバスター乗車確認バディロイド接続確認」
カチカチ

let's ride

ニツク「ヒロム！訓練どうりターゲットの補足は俺に任せろ！お前は戦いに集中しろ！」

レッドバスター「わかってる」
ドンドン

レッドバスター「ビルが！」ダツ!!?

ニツク「ヒュー危なかつたな」

ウサダ「やるじゃん」

it's Time for bastard

レッドバスター「ハアアアア」

シユドーン

ニツク「最高だヒロムこれなら戦える！間違えない！」

レッドバスター「まだ喜ぶのには早い。あのメタロイドが残ってるってなんだ!!?あの宙に浮いてる狼！」

弦太郎視点

堅吾「返せ！それは俺のうっ！」キーン

ユウキ「堅吾君」

弦太郎「今のお前じゃ無理だ」

堅吾「だが君にも無理だ」

弦太郎「やってみなくちゃワカンねえだろ？」

堅吾「ふざけるな」

弦太郎「ここは俺に任せろ」

堅吾「おいまてっ！」キーン

堅吾「なんで俺はこんな体に生まれた!!?’」ドン！

大杉視点

大杉「コラコラ廊下走るんじゃないよ」

園田「どうしたんですか！」

大杉「あつ園田先生」

オリオンゾディアーツ「ウワアあああああ」

大杉「何あれバケモンだああああ」

園田「きやあ！」

弦太郎「ヨッーシこれでお前を倒してやる！ってあれこれの使い方ワカンねえ！」

ユウキ「はいはいはい腰に巻きつけて」

弦太郎「へ？」

ユウキ「こう！」

シューイン

弦太郎「おお！」

ユウキ「そしたらスイッチ入れて！」

弦太郎「スイツチ☒」

ユウキ「そう！それが貴方に宇宙のパワーをくれる」

弦太郎「宇宙のパワー？」

ユウキ「そう！」

カチカチカチカチ

ユウキ「」ダツ

弦太郎「おい！なんで逃げんだよ！」

3 2 1

ユウキ「いいから早く変身って言ってレバーを引いて手を上に上げて！早く！」

弦太郎「えーと変身!!? って言ってレバーを引いて手を上に上げる!!?」

フォーゼ「なんだかワカンねえけど宇宙キターー!!?」

ユウキ「そう！それがフォーゼよ！早く怪物を」

フォーゼ「これがフォーゼかわかった!!? おりや！」ドン

フォーゼ「しやあ！おりや！」ドン

オリオンゾディアーツ「ふん！」ドン！

フォーゼ「うを！」

フォーゼ「オーーリヤおらおらおら!!?」ドンドン！

フォーゼ「おうりやあ!!?」

ユウキ「校舎の中は危ないからロケットスイッチ押して！」

フォーゼ「これか？」

ロケットオン

フォーゼ「ウワアああああ!!？」

ユウキ「すつごー!!？」

フォーゼ「おつと目が回った！」

フォーゼ「あつ気持ちわり！おらっ！」ドン

フォーゼ「ほかになんかねえのか」

カチ

ランチャーオン

ドカンドカン

フォーゼ「あつやべ違うところ打っちゃった」チリンチリン

フォーゼ「なんだ？」

カチ

レーダーオン

堅吾「お前学校破壊する気か？」

フォーゼ「歌星か？」

堅吾「今は戦いに集中しろ左手についてるレーダーでターゲットを細くしろ」

フォーゼ「わかった！こうか」

フォーゼ「ロックオン！くらえー！」ドン！ドン！ドン！

オリオンゾディアーツ「ウオオオオ!!？」

堅吾「よし！接近戦だ右足のスイッチを交換しろ！」

フォーゼ「ok右足な」

チェンソー

カチ

チェンソーオン

フォーゼ「うお！カッコいいじゃん行くぜ！」

フォーゼ「おつ何度も同じではくらうか！」

カチ

ロケットオン

フォーゼ「ウオ!!？高い高いこっちは？」

カチ

ドリルオン

フォーゼ「よしトドメだ！」

堅吾「ちよつとまで如月！」

フォーゼ「ウツセエ」

レーダーオフ

ロケットドリルリミットブレイク

フォーゼ「くえらえロケットドリルキックウウウ!!？」

オリオンゾディアーツ「うああああ」ドカーン!!？」

フォーゼ「よっしゃあ」

ユウキ「やったね弦ちゃん！」

フォーゼ「ぎつとこんなもんよ！」

堅吾「如月!!？」

フォーゼ「おつよー堅吾!!？」

堅吾「名前で呼ぶな！」

ユウキ「ちよつと待って何あの狼!!？」

フォーゼ「狼あれもあの化け物なのか？」

堅吾「いや、あんなやつ知らない！」

みゆき視点

みゆき「そうだキャンデイ！こつちかな？あつみーつけた!!？」

キャンデイ「狼が狼がクル！クルーーーーーー！クル？」

みゆき「キャンデイ！」

キャンデイ「クウルウ!!？」

みゆき「ちよつと待ってよ」

キャンデイ「空から狼が来たクル!!？」

みゆき「そんなのいるわけて本当に何かいるし!!？」

ウルフルン「ウルツフフ早速この街からおっぱじめてやる」

ウルフルン「世界よ！最悪の結末バッドエンドに染まれ」ブシュ!!

？

ウルフルン「白紙の未来を黒く塗りつぶすのだ」ベチャ

みゆき「何？」

キャンデイ「ウルフルンが世界をバッドエンドにしようとしてるクル」

ヒロム視点

レッドバスター「やっぱり戦いたくない」

ニツク「どうしたんだヒロム!!?」

ブルーバスター「どうせ勝てない」

イエローバスター「もうだまだ」

黒木視点

ウサダ「ヨーコが戦意喪失してる何で!!? さっきまでうまく言ってたのに」

黒木「ヨーコだけじゃないリユウジもだ!!?」

森下「司令官何が起こってるのですか☒」

黒木「わからないあの狼が何かした時にヒロム達の様子が変わった」

シヨベルバグラス「なんだ急に静かになったな今のうちにやるか！」

ウサダ「やばいよ! このままじゃヨーコ達が危ないよ!」

弦太郎視点

ユウキ「宇宙飛行士になんかなれるわけがない」

フォーゼ「ユウキ☒どうしたんだ堅吾何が起こってる☒」

堅吾「おそらくあの狼の仕業だろう」

フォーゼ「じゃあなんで俺は!!?」

堅吾「フォーゼは全身がコズミックエナジーで覆われている! ユウキがそうだったのあの狼のエネルギーの仕業だ。コズミックエナジーで覆われているフォーゼは無事なんだ」

フォーゼ「それにしてもヤベエ! 堅吾あの狼も倒してくる!」

堅吾「まで如月!」

みゆき視点

みゆき「バッドエンドって?」

キャンデイ「悪い未来のことクル!!?」

みゆき「なんなのこれ?」

サラリーマン「もう、おしまいだ」

学生「頑張っても無駄だ」

キャンディ「大変クル!!?みんなからバッドエナジーが出てくるクル!!」

ウルフルン「ウルツフフ人間達が発したバッドエナジーが悪の皇帝ピエロ様を蘇らして行くのだ!!?」

ウルフルン「ウルツフフ」

キャンディ「やめるクル!!?」

みゆき「ちよつとキャンディ!」

ウルフルン「お前もこの世界に来てたのか」

キャンディ「世界をバッドエンドにしちゃダメクル!!?」

みゆき「なにそれ?どういうこと?」

ウルフルン「ウルツフフ未来は全てバッドエンドになる。頑張っても無駄だ」

キャンディ「違うクル!無駄なんて絶対にならないクル!頑張ったらきつとハッピーになれるクル!」

ウルフルン「けっほざいてろ」

キャンディ「くっクル」

みゆき「キャ キャンディのいう通りだよ!私も今日自己紹介緊張したけど頑張ったらクラスみんなが助けてくれてめげずにできた!どんなことも絶対頑張り抜くの!そうすれば絶対ハッピーになれるんだから!!?」

ウルフルン「なんだお前?グダグダ言っでねえでさっさとそいつをこつちによこせ食ってやる!」

キャンディ「クルウウ!!?」

みゆき「私決めた!」

ウルフルン「あーん☒お前俺様が怖くねえのか?」

みゆき「怖いに決まってるでしょ!!?」

ウルフルン「じゃあなんでそいつをかばうんだ?」

みゆき「わかんないでもこんなちっちゃな子がいじめられてたら誰だって守ろうと思うよ!」

ウルフルン「震えてんじやえか!!? だったらお前から食ってやるよ」

みゆき「いやああああ!!?」

キャンディ「逃げるクルウウウ!!?」

ウルフルン「逃すか!」

キャンディ「キャンディを置いて逃げるクル!」

みゆき「そんなの無理!でも怖い!」

ウルフルン「走れ走れ追いつくぞ」

キャンディ「このままじゃちみも食べられちゃうクル」

みゆき「でも決めたんだもん!私頑張る!私キャンディが言ったこと正しいと思うからあ!」

キャンディ「クル?」

ウルフルン「テメエらのやること全部無駄なんだよ!」

みゆき「きやあ!」

キャンディ「クルウ!」

ウルフルン「ウルツフフさ!諦めてそいつをよこしな」

みゆき「諦めないよ!私頑張るって決めたことは最後までやるんだもん!」

ウルフルン「うっせえなだつたら仲良く」

みゆき「それが私のそれが私の」

ウルフルン「オネンネしなあ!!?」

みゆき「ハッピーなんだから!!?」

ピカーン

ウルフルン「なんだ☒」

みゆき「なんなのこれ?」

キャンディ「もしかしてちみが」

スマイルパクト

みゆき「何これ?」

キャンディ「スマイルパクトクル!!? ちみは伝説の戦士プリキュアなんだクル!」

みゆき「何それ?」

キャンディ「キュアデコルをスマイルパクトにセットしてプリキュアスマイルチャージって叫ぶクル！」

みゆき「なんだかよくわからないけど。やってみる！レディ？」

みゆき「プリキュアスマイルチャージ!!？」

ゴーゴーレツツゴーハッピー

ハッピー「キラキラ輝く未来の光 キュアハッピー！」

キャンディ「プリキュア見つけたクル!!？」

ハッピー「なっなんなのこれ☒かつ可愛い〜!!？」

ウルフルン「なんだあいつは、」

キャンディ「落ち着くクル！今ちみは伝説の戦士プリキュアになったクル！」

ハッピー「伝説の戦士プリキュア？」

キャンディ「そうクル！」

ハッピー「戦士って事はまさかあの狼さんと？」

キャンディ「戦うクル！」

ハッピー「えええええ!!？無理無理無理怖いもん！」

キャンディ「えええええ!!？プリキュアなのにい!!？」

ハッピー「プリキュアってなんなの？」

キャンディ「伝説の戦士クル」

ウルフルン「なんだかしらねえが返り討ちにしてやるぜ」

ハッピー「うええきたああ！あっそうだ狼といえば」

ウルフルン「なんだ？」

ハッピー「三匹の子豚じや狼さんはレンガの家を吹き飛ばせなくてハッピーエンドよ!!？」ビシ！

キャンディ「なるほどクル！」

ウルフルン「ウルツフフ馬鹿め俺様はこんなこともできんだよ！いでよあかんべえ」

ハッピー「えっ？なにになに？」

キャンディ「逃げるクルウ！」

レンガアカンベエ「アカンベエ」

ハッピー「レンガのお化け〜！」

ウルフルン「こいつはアカンベエピエーロ様力でキュアデコルをバッドエンドにして生み出した怪物だ」

黒木視点

森下「狼のいるところにエネトロン異常消費反応です！」

黒木「何!!?」

ウサダ「どうしよお〜!!? ヨーコ達は戦意喪失しちゃってるし〜もうダメだ〜!!?」

黒木「いやまてあれは?」

みゆき視点

ウルフルン「いつけーアカンベエ!!?」

レンガアカンベエ「アカンベエ！」

ハッピー「いやああああ!!?」

ウルフルン「何!」

ハッピー「あれ? 何これなんでこんなに飛んでるの!!?」

キャンディ「ハッピーすごいクル！」

ウルフルン「くそ! アカンベエ！」

ハッピー「ちよつとキャンディ! これどうやって降りるのよ!」

キャンディ「アカンベエくるクル!!?」

レンガアカンベエ「アカンベエ！」

ハッピー「いやああああ来ないで!」ドン

ウルフルン「何!!?」

ハッピー「何今の? スーパーパワー」

キャンディ「プリキュアは世界を守る超戦士クル！」

ハッピー「わかったこれテレビのスーパーヒーローね」

キャンディ「ええええ!!? そんなじゃないクル!!?」

ハッピー「で次は?」

ハッピー「やっぱり怖いよー!」

キャンディ「逃げちやダメクル戦うクル!!?」

ウルフルン「なんだあいつらいけアカンベエ!!?」

レンガアカンベエ「アカンベエ!!?」

ウルフルン視点

ウルフルン「くそつなんなんだよあいつは、急に現れて!!?俺たちの邪魔をしやがって」

エンター「それはこっちのセリフです」ギューーン

ウルフルン「!!?」

ウルフルン「誰だテメエ?テメエもプリキュアの仲間か?」

エンター「プリキュア?あの超人的な方のことですか?残念ながら違います私はエンター。我がマジステイメサイヤを転送するには大量のエネトロンが必要でしてね。あなたのその本の中にあるものを提供してくればありがたいのですが」

ウルフルン「エネトロン?なんだそりゃ?これはバッドエナジーって言って悪の皇帝ピエーロ様を蘇らせるのにしたようなエネルギーだ。テメエなんかやるかよ」

エンター「それは残念です。なら力づくでも」

ウルフルン「やってみろよ」

弦太郎視点

フォーゼ「ウオオオオってなんだお前!!?」

シヨベルバグラス「お前にいう意味はない死ね!」

フォーゼ「なんだかわカンねえけど取り上げず売られた喧嘩は買うぜ!」

シヨベルバグラス「おらって」ブン

フォーゼ「ほっおっと」ヒュウ

フォーゼ「おらっ!」ブン

シヨベルバグラス「うわあ」

フォーゼ「よっしやトドメだ」

カチ

ロケットオン

カチ

ドリルオン

ロケットドリルリミットブレイク

フォーゼ「ライダーロケットドリルキック!!?」

シヨベルバグラス「ウワアああああ」

ドカン!!?

フォーゼ「よしそうだあの狼野郎のところにかねえと」

みゆき視点

キャンデイ「ハッピーシャワーで浄化するクル！」

ハッピー「何それ☒」

キャンデイ「プリキュアの癒しの力クル！」

ハッピー「カッコいいわかったやつてみる！覚悟しなさい！」

レンガアカンベエ「アカンベエ？」

ハッピー「ハッピーハッピーハッピーシャワー」

ハッピー「あれ？ちよつとどうナムルのよ！ハッピーシャワーハッ

ピーシャワーハッピーシャワー！」

レンガアカンベエ「アカンベエ！」

ハッピー「ひっ！いやああああ!!?何も出ないじゃない！」

キャンデイ「気合いが足りないクル！」

ハッピー「嘘だ！私超やる気だったもんだから今超恥ずかしいもん

！」

レンガアカンベエ「アカンベエ!!?」

ハッピー「ダメダメハッピー逃げてばっかじゃハッピーも逃げちゃ

うそれに。悪い狼さんなんか絶対負けたくない!!?」

キャンデイ「スマイルパクトクル。スマイルパクトに気合を込める

クル!!?」

ハッピー「よーし！気合いだ！気合いだ！気合いだ！はっ力が吸い

込まれていく！」

キャンデイ「休まずに力を込めるクル！」

ハッピー「気合いだ気合いだ気合いだ気合いだ気合いだああああ!!?」

キャンデイ「今クル！」

ハッピー「プリキュアハッピーシャワー!!?」

レンガアカンベエ「アカンベエ」シユワアー

ハッピー「なにこれ？ものすっごい疲れた」

キャンデイ「ハッピーシャワーはとてまパワーを使うクル」

ハッピー「先に言ってよく怖かった〜!!？」

ヒュ!!?

ハッピー「なにこれ？」

キャンデイ「キュアデコルクル!!？」

ハッピー「そういえばあの狼さんは？」

エンター視点

ウルフルン「!」

エンター「なかなかやりますねしかしもう終わりです。さつさとエネトロンを渡してもらいましょうか」

ウルフルン「くそ！プリキュアといいお前といい一体なんなんだ!!
？」シユン!

エンター「?消えた?なるほど彼らも瞬間移動の能力があるのですか。しかしゴースターズといい彼らといいプリキュアといい我々の障害は増えていくばかりですね」シユン!

ヒロム視点

ヒロム「俺は一体？」

ニツク「ヒロム!目が覚めたのか？」

ヒロム「司令官メタロイドは一体!」

黒木「謎の物に削除された一応驚異は去ったというべきか?しかしバグラス以外にもう一つの脅威がある」

ヒロム「あの狼のことですね」

黒木「あいつの圧するエネルギーにはエネトロンを吸い取る能力がある。見つけ次第即刻シャットダウンするのが最善だろ」

ゴースターズED

弦太郎視点

フォーゼ「オーーーーーーイ!!？」

ハッピー「なんかこつちに来てない？」

キャンデイ「あれなにくるっ？」

フォーゼ「なああんたこの辺に狼見なかったか?」

ハッピー「狼さんならどっかいつちやったけど」

フォーゼ「くそっ遅かったか!」

堅吾「如月奴はこの辺にはいない戻ってこい！」

フォーゼ「たくしようがねえな！あつサンキューな！教えてくれて
じやーな」

ハッピー「なんだったんだろう？」

みゆき「よかった街の人たちにハッピーが戻って。ところで色々説
明してほしいんだけど」

キャンデイ「プリキュアになってキュアデコルを集めるクル！そし
てキャンデイの世界を救ってほしいクル!!？」

みゆき「えええええ!!？全然わかんないけど面白そう!!？」

キャンデイ「ほんとクル？」

ハッピー「なんだろう。とびつきりハッピーなことが始まっちゃた
かも!!？」

スマイルプリキュアED

次回宇宙熱血の約束